

FUKUROI DIARY

ふくろい日記帳

地域を守る 消防団入退団式

4月5日、中央公民館で消防団入退団式が行われ、退団者129人に退団記念品が、新入団員121人に辞令書が渡されました。

新入団員を代表し、袋井方面隊第2分団の鈴木隆士さん(小川町)が、「良心に従い、消防の義務を遂行することを誓います」と、団員としての決意を宣誓しました。

今年度の役員は次の皆さんです(敬称略)。

団長 秋田和宣(西区)
副団長 高橋祐一(延久)、近藤敦賢(梅山)、須田浩一(深見東)
袋井方面隊長 足立直紀(久津部東)
浅羽方面隊長 白畑貴(浅羽)



まちを彩る素敵な花壇

4月10日、「花いっぱいコンクール」の本審査が行われました。

花と緑いっぱいのもちづくりを進めるため、市内の花壇のデザインや美しさ、花の育成状況を競うもので、本審査が行われたのは応募のあった54花壇のうち1次審査を通過した25の花壇です。

各部門の最優秀賞は次のとおりです(敬称略)。

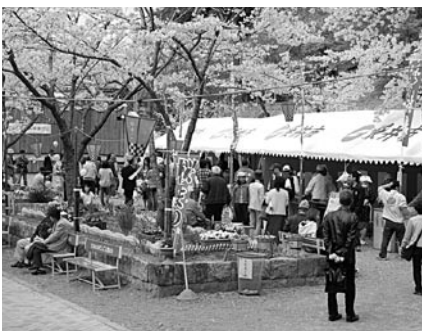
地域団体の部 浅羽支部花の会
学校・企業・施設の部 岡崎会館
個人の部 鈴木良枝さん(上新池)
※良枝さんは、3回目の受賞となり、「名人位」に認定されました。



桜を見ながら新茶でいっづく

4月4日・5日、法多山尊永寺で「ふくろい新茶まつり」が開催されました。

新茶シーズンを前に、袋井茶振興協議会が毎年行っているもので、満開の桜のもと、会場では、茶娘による新茶サービスや手もみ茶の実演、お茶の入れ方教室や利き茶クイズなどを展開。4日には「さくらまつり」写真大会も行われ、訪れた皆さんは、見ごろの桜とおいしい新茶の味と香りを楽しみました。



まちの話題・ニュースやできごとをご紹介します！

いざという時に備えて 救急救命講習

4月12日、袋井消防署で第1回普通救命講習が行われました。

講習には、市民の皆さん20人が参加。消防署職員の講義やビデオで救急救命について学んだあと、実技体験に臨みます。

受講した皆さんは、人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED(自動体外式除細動器)の使い方手順などを一つひとつ確認しながら、救急救命技術を自分のものにしていました。

袋井消防署や浅羽分署では、定期的に救急救命講習を開催しています(※)。いざという時に備えて、皆さんも是非、ご受講ください。

☎袋井消防署 44-5119



※6月までの講習日程は、本紙平成21年3月1日号15ページをご覧ください。

看護の道へのスタートライン

4月10日、東海アクシス看護専門学校で入学式が行われ、看護の道を目指す新入生60人が新たなスタートを切りました。

式では、小早川雅洋まさひろ校長が「時代の要請に応えられるプロフェッショナルを目指してください」とあいさつ。新入生を代表し、藤原理保さん(菊川市)が「理想とする看護師になるため、精いっぱい勉学に努めます」と誓いの言葉を述べました。

入学した皆さんは、同校で3年間看護について学び、看護師国家資格の取得を目指します。



ウォーキングキャラバン スタート

健康づくりの推進のため、市内各所で行っているウォーキングキャラバンが、今年で8年目を迎えました。

4月4日には、今年度最初のキャラバンが宇刈地区で開催。春の陽気の中、参加した約250人の皆さんが、宇刈川に沿う2つのコースを桜や菜の花を見ながら楽しく歩きました。

また、会場では昨年度のキャラバンで10以上のウォーキングポイントを集めた方に達人証と記念品を贈呈。ゴールでは、地域の皆さんから参加者へ甘酒の振る舞いなども行われました。

